

会場ご案内



- JR富山駅よりバスで約5分／城址公園前下車 徒歩で約3分
- JR富山駅より徒歩で約15分
- 富山空港より空港連絡バスで約25分／総曲輪下車 徒歩で約2分

【開催日時】2011年10月22日(土)～23日(日)

【会場】富山国際会議場 〒930-0084 富山市大手町1-2

【定員】800人

【参加費】9,000円(当日資料代含む)

参加申込について

添付の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、取り扱い旅行会社に郵送、またはFAXにてお申し込みください。
詳しくは、別紙の参加登録のご案内をお読みください。

参加申込に関するお問合せ先

JTB東北法人営業仙台支店ECデスク(ご連絡いただくのは東京の事務所となっております)
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル7F
JTBビジネスネットワーク気付 第5回「地域共生ホーム全国セミナー」inとやま係
TEL:03-5949-1351 FAX:03-5396-8145 E-mail:sendai-ec@jtb.co.jp
〈営業時間〉土日祝除く平日/9:30～17:30

内容に関するお問合せ先

第5回「地域共生ホーム全国セミナー」inとやま実行委員会

〈事務局〉全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) 〈担当〉高木・島田・田村
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1F
TEL:022-727-8730 FAX:022-727-8737
E-mail:clc@clc-japan.com URL:http://www.clc-japan.com

第5回 地域共生ホーム 全国セミナー inとやま

だれもが支えられたり、支えたり

「共生」とはどんな人でも排除しないで包み込むこと

赤ちゃんからお年寄りまで一つ屋根の下で過ごしている

その人なりの居場所があって、一人ひとりが輝いている

いつでも、いつまでも利用できる家

そんな場所を考えて見ませんか



2011年10月22日[土]～23日[日]

会場: 富山国際会議場

主催: 第5回「地域共生ホーム全国セミナー」inとやま実行委員会

共催: 富山ケアネットワーク/ 宅老所・グループホーム全国ネットワーク/
全国コミュニティライフサポートセンター

後援: 富山県/ 富山市/ 富山県社会福祉協議会/ 富山市社会福祉協議会

開催趣旨

私たちの『思い』を『活動』にして、富山型デイサービスが生まれて18年がたちました。「地域共生ホーム全国セミナー」inとやまは、2003年9月の第1回セミナーに続き、2005年、2007年、2009年とこれまで4回のセミナーを開催し、これまで「お年よりも障がい者も子どもも一つ屋根の下で、通って、泊まって、住むことができる制度を」と提案がなされ、それらが『制度』をつくりました。
今回のセミナーでは、東日本大震災の被災地での支援活動をもとに、「地域共生ケア」から「地域共生社会」へ、みんなで共に創りだす共生社会の仕組みについて考えます。

Program 1日目 10月22日(土) 総合司会 西村和 美

11:00～12:15 受付

12:15～12:20 開 会
第5回地域共生ホーム全国セミナーinとやま 富山県 実行委員長 惣 万 佳代子 知 事 石 井 隆 一

12:20～13:10(50分) 進化する「富山型デイサービス」の本音を語る!!!
当事者・家族が富山型デイサービスに通い続ける理由や、良いところ、悪いところ、これからのことを語ります。
3つの発表(子どもからお年寄りまでたくさんの方が舞台にあがります)

13:10～14:00(50分) 記念講演 「いっぱいごめん、いっぱいありがと ～認知症の母を介護して～」 陶 芸 家 岡 上 多寿子

14:00～14:15 休 憩

14:15～15:25(70分) 鼎 談 「自分の好きなまちで暮らそうよ」
ひらすま(富山県) 代 表 佐 伯 知華子
西宮市自立支援協議会 会 長 玉 木 幸 則
全日本手をつなぐ育成会 委 員 長 野 沢 和 弘 (毎日新聞社論説委員)

15:25～16:40(75分) ディスカッション 「地域で支え合う仕組みづくり」
すずの会(神奈川県) 代 表 鈴 木 恵 子
かいご家(長野県) 代 表 松 本 徳 弥
氷見市社会福祉協議会地域福祉部(富山県) 部 長 森 脇 俊 二
富山県 知 事 石 井 隆 一
◆コーディネーター 教 授 平 野 隆 之
日本福祉大学社会福祉学部

16:40～16:55 休 憩

16:55～18:25(90分) ディスカッション 「震災を通して共生ケアを考える」
◆パネラー 相談支援専門員 村 上 仁
石巻祥心会(宮城県) 世 話 人 内 海 正 子
宅老所・グループホーム全国ネットワーク 事 務 局 長 池 田 昌 弘
東北関東大震災・共同支援ネットワーク
◆サポーター 次 長 佐々木 清 司
宮城県保健福祉部
◆コーディネーター 教 授 藤 井 博 志
神戸学院大学総合リハビリテーション学部

19:00～21:00 懇 親 会

岡上 多寿子
陶芸家。「自分の手に残るものを」と紙粘土をはじめ、そこから陶芸の道へ。棚田が広がる穴地区の集落に「土の子窯 山田屋」を開いた。2006年に、認知症の母を介護した10年間を絵と文で綴った『いっぱいごめんいっぱいありがと』を出版。大きな反響を呼んだ。



玉木 幸則
仮死状態で生まれる。4～5才の1年間で療護施設で過ごす。日本福祉大学卒業後、知的障害者通所授産施設勤務を経て、自立生活センター・メインストリーム協会に。当事者の立場から、障害者の自立生活運動にのめりこむ。社会福祉士。現在、NHKの番組「きらっといきる」で案内役を務める。



すずの会
高齢化率17.2%、約28,000人が暮らす川崎市宮前区野川地区で、助け合える活動をしようと1995年に発足。“普通のおばさんグループ”であることにこだわり、専門職が投げ出す困難ケースにも対応。ご近所サークル「ダイヤモンドクラブ」の活動は必見!



氷見市社会福祉協議会地域福祉部
富山県西部に位置する氷見市では、地区社協を基盤に住民主体によるふれあい型の地域福祉活動と個別課題に対して見守り・声掛けを中心としたケアネット活動を行い、その延長として、買い物・外出支援などの生活に密着したサービスを展開中。



石巻祥心会
知的障がい者更生施設(通所・入所)、授産施設(通所)、障がい児者支援センターなどを運営している。東日本大震災では津波の被害を免れた事業所が避難所として使われた。合併前の市町村ごとに災害状況を把握し、それぞれの地域に住む障がい者への支援に奔走している。



佐伯 知華子
看護師。年齢や障がいの有無に関わらず、どのような状況におかれても「支え合って共に生きる」「住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らす」ことができる地域づくりを念頭に、2004年富山型デイサービス「小規模共生ホームひらすま」を開設。富山県主催の起業家育成セミナーの講師としても活動中。



野沢 和弘
千葉県障害者差別をなくすための研究会の座長として、日本で初めて障害者に対する差別を禁止する条例(「障害のある人もない人もともに暮らしやすい千葉県づくり条例」)づくりに尽力。自閉症児の父親でもある。



かいご家
長野県南箕輪村にて宅老所を開設。訪問介護や通所介護など、子どもから障がい児・者、高齢者までをサポートしている。「その人らしさを大事にするケア」が心条。



東北関東大震災・共同支援ネットワーク
介護職や看護職などの専門職ボランティアを、(福祉)避難所や施設などに派遣したり、支援物資を必要とされる場所に届けたりすることを目的に、3月13日に設立された。各地のニーズ調査のほか、車の提供、在宅で住まいを失った人への一時的な住まいの提供、配食や安否確認などの生活支援など、多様な取り組みを行っている。



Program 2日目 10月23日(日)

9:30～10:00 「みんなで生きる」(ビデオ上映)

10:00～11:00(60分) 富山型デイサービスの運営の秘密「あのねのね」
①看護師さんの役割? ②利用者同士のトラブルは? ③ドキドキひやりはっと対応策は? ④地域とのトラブルは? ⑤行政との関係は?
◆コーディネーター にぎやか代表 阪井由佳子 他 富山ケアネットワークメンバー

11:00～12:00(60分) 特別講演 「地域共生社会へ期待すること」
内閣府政策統括官(共生社会政策担当)兼 内閣府自殺対策推進室長兼 内閣官房内閣官房副長官補付内閣審議官兼 待機児童ゼロ特命チーム事務局長 村 木 厚 子

12:00～13:00 ランチョンセミナー(ビデオ上映)

13:00～15:00(120分) まとめのセッション 「みんなで共に創りだす共生社会へ」
◆パネラー 理 事 長 野 敏 宏
ハートinハートなんぐん市場(愛媛県) 会 長 惣 万 佳代子
富山ケアネットワーク(富山県) 市 長 森 雅 志
富山市 秘 書 官 山 崎 史 郎
内閣総理大臣
◆コーディネーター 福社と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット 志の縁結び係 国際医療福祉大学 教 授 大 熊 由紀子

15:00～15:10 閉 会

村木 厚子
高知県出身。雇用均等・児童家庭局長だった2009年に「凜の会事件」で逮捕・起訴されたが、2010年9月に無罪が確定した。現在は、内閣府で年齢や障害の有無等にかかわらず安全に安心して暮らせる「共生社会」の実現に取り組んでいる。



ハートinハートなんぐん市場
愛媛県の最南端、愛南町で2006年9月に設立。障害者の就労支援、地域振興、環境保全を目的として設立され、現在、「観葉植物のレンタル」、「山出(やまいだし)憩いの里温泉の運営」などの事業に取り組みながら、地域の活性化、雇用機会の拡大を目指している。

